

多々良川ゆめプラン事業2008		大西 亘 (ふくおか湿地保全研究会)
わくわく体験事業活動記録書	開催日時	平成20年 7月 27日(日) AM10:00 ~ 12:00
団体名: ふくおか都市圏の生きものを考える会	開催場所	東部水処理センター, 多々良川河畔
行事名: 自然観察会『カニと塩生植物』	参加人数	8名

今回のわくわく体験の概要:

多々良川河口干潟には干潟に固有な塩生植物と、そこをすみかとするカニなどの生き物が数多く生息していることを、参加者に知ってもらうことを目的としました。はじめに室内で「干潟とはなにか」「多々良川河口干潟にすむカニと塩生植物」についてのレクチャーを行い、事前に採集しておいたカニを直接じっくりと見て触れてもらいました。実際に野外に出た観察会は参加者各自が干潟の生き物を探索する形式で実施し、発見的な体験型学習の機会となるよう工夫しました。室内に戻って観察会の振り返りとまとめを行い、行事を終了しました。

参加者の感想: (3名程度)

・色々なカニが見れ、よくみると多々良川にはふつうに生えている草でもぜつめつ危惧種やめずらしい草がみぢかにありびっくりしました。

・かにをみつけてたのしかった。

・暑い中本当にありがとうございました。皆様の自然に対する思いが伝わってきて私にもできることを探していきたいと思いました。干潟の大切さは、まずここに来て生き物たちの様子を見ることからスタートすればより深く感じますね。今後のご活躍を期待しています!!

活動団体の感想:

クマゼミの大合唱が響く中、ご参加いただいたみなさまに感謝いたします。暑さのためか、動きまわるカニが少なく、野外で多くのカニを見ていただくことはできませんでしたが、はさみを懸命に振るカニの様子などを望遠鏡や双眼鏡を駆使することで観察できたのは良かったと思います。



室内で代表的なカニをじっくり観察



塩生植物の観察風景